

## 7月6日（月）国際交流体験に関する講演会（増田修代先生）

- 日時 平成27年7月6日（月）15:30～17:00
- 演題 国際交流体験の勧め
- 講師 増田修代氏（参加生徒人数 30名）



### 【増田先生のプロフィール】

日本大学国際関係学部 非常勤講師。  
国際平和親善団体サーバス※の  
普及活動を長年おこなっている。

※サーバスとは、異なる文化を持つ人々が、  
個人的な交流を通して相互寛容の精神を学び、  
世界平和の構築を目指す国連 NGO である。



[メモをとりながら話に聴き入る生徒たち]

### 【生徒の感想】

現地体験を踏まえての増田先生の話はとても心に沁みだ。特に心に残ったのは、報道などをそのまま鵜呑みにしてはいけないということである。今後、いろいろな情報や学校の授業から学んでいくが、全てをそのまま信じ込むのではなく、自分の目できちんと確認し追求していくことが大切だと思った。今日の話を活かして、これからも生活していきたい。

### 【ご講義の内容】

#### □グローバルリーダーに必要なものとは

- ・ リーダーに求められるのは、能力や人格だけではなく、心に理想を持っていることである。グローバルリーダーとは、国籍・人種・文化に関係なく、様々な人が素晴らしいと思える人類共通の理想を掲げられる人のことである。

#### □幼少期の国際体験からサーバスとの出会いまで

#### □サーバスの活動について

#### □日本という国について

#### □言論の自由について

- ・ 国やグループの中で異論が出た時、人はその国やグループの未来について真剣に考える。
- ・ 言論の自由を守るということは、国の未来を守ることでもある。

#### □国際交流の注意点

- ・ 国と人とは違う。国際交流する時は、個人対個人として付き合うことが大切である。
- ・ 外交官は「永遠の味方も永遠の敵もない」ということを学ぶという。敵対しても縁を切るのではなく、共通の敵には共闘できるようにしておくのが賢いやり方である。
- ・ 歴史を通してできた性格というものが各国にある。例えば、牧畜を伝統としてきた国では、きちんと主張ができないと、何を言われても黙っている家畜のような存在だと、心の奥底で思われても仕方がない場合もある。それくらいの覚悟を持って、自分の思っていることを積極的に言語化することが大切である。